

## 平成25年度第4回キッズ・モニターアンケート

### 「ごみゼロ社会について」

(アンケート期間：平成25年9月25日～平成25年10月9日)

このアンケートの結果を、次のページからまとめてみました。  
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました！



ゼロ吉です。  
みんな回答してくれて、  
ありがとうゼロ！

	小学生	中学生	高校生	計
モニター登録者数 (人)	170	214	91	475
回答者数(人)	93	86	43	222
年代毎回答率(%)	54.7	40.2	47.3	46.7
回答者の割合(%)	41.9	38.7	19.4	100

～はじめに～

みなさんの家などで出るごみの多くは、焼却(もやすこと)や埋立(うめること)といった方法で処分されています。焼却では燃料を使うため、二酸化炭素などの温室効果ガスなどが排出され環境に対してダメージを与えています。また、焼却できないものや焼却したあとに残る灰などを埋めるための埋立処分場は、残り少なくなっています。

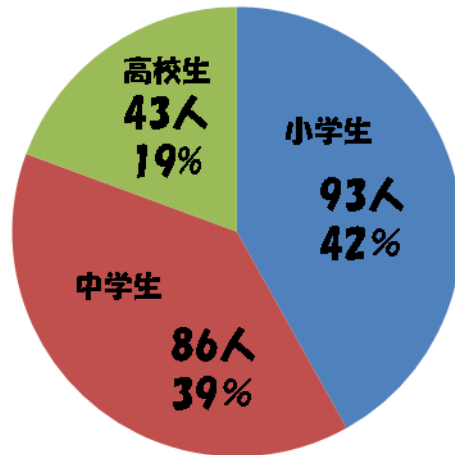
今のままでは、ごみの処理ができなくなってしまうことから、三重県では、「ごみを出さない」、「ごみをなくす」ことを大切にし、「ごみを出さないくらし」や「ごみが出にくい活動」が広まり、ごみの量がへり、出されたごみは資源としてふたたび使われる「ごみゼロ社会」をめざしています。



## Q1 あなたの年代

あなたの年代はどれですか。

- ①小学生 ②中学生 ③高校生



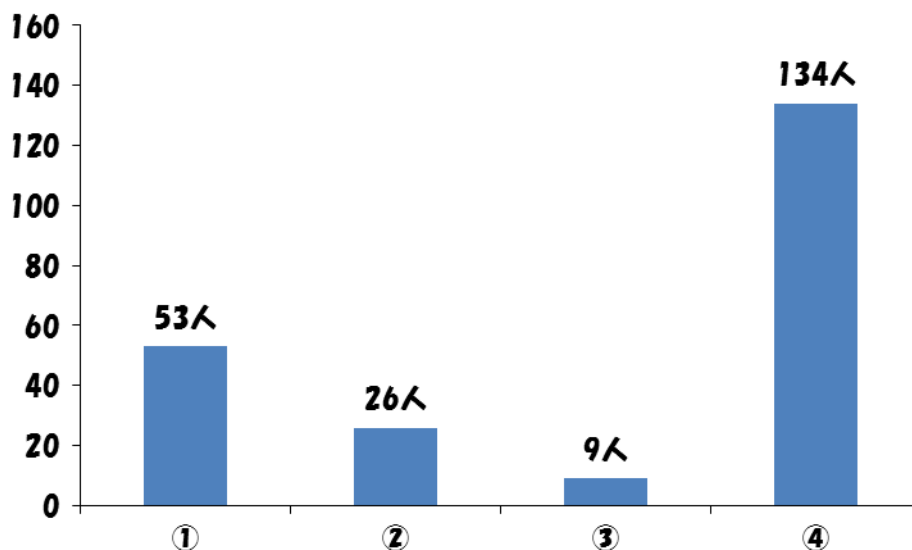
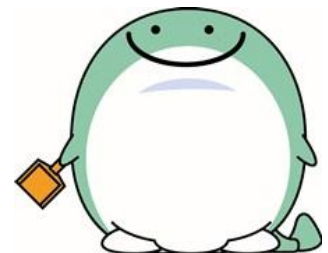
## Q2 ゼロ吉

三重県のごみゼロキャラクターの「ゼロ吉」

(添付の画像を見て下さい)を知っていますか。

- ①名前を知っていたし、ゼロ吉を見たことがあった
- ②名前は知らなかったが、ゼロ吉を見たことはあった
- ③名前を知っていたが、ゼロ吉を見たことはなかった
- ④名前は知らなかったし、ゼロ吉を見たこともなかった

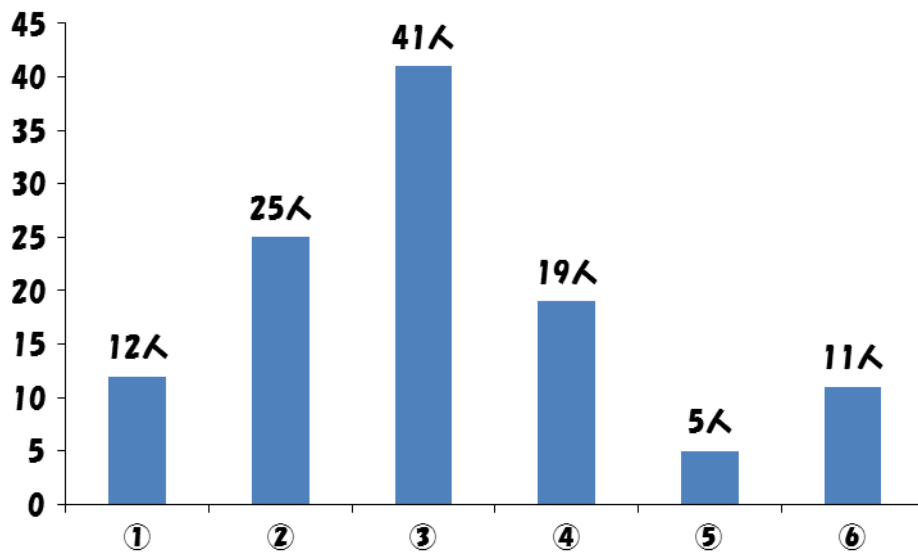
【添付の画像】



### Q3 ゼロ吉を見た場所

Q2で「名前を知っていたし、ゼロ吉を見たことがあった」、「名前は知らなかったが、ゼロ吉を見たことはあった」と答えた人に聞きます。何で見ましたか。当てはまるものすべてをえらんでください。

- ①県庁見学 ②イベント ③パンフレット ④コンビニやスーパーのごみ箱  
⑤県のHP ⑥その他

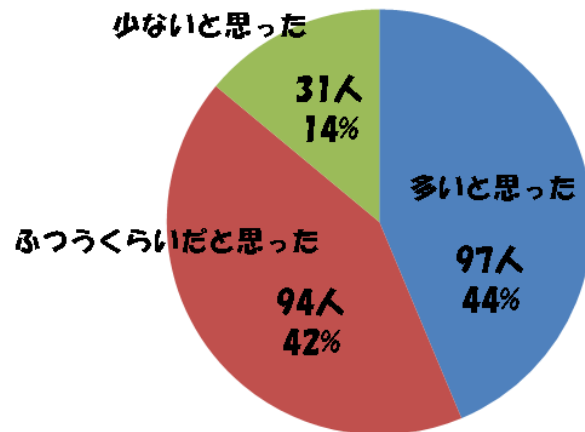


「その他」では、学校のポスター、学校での授業、看板、校外学習、新聞広告、三重県環境学習情報センター、学校のビデオ、ステッカーでほくのことを見てくれたことがあるんだね。ありがとう！

#### Q4 1日に出すごみの重さ

三重県の人ひとり1日に出すごみの重さは、1000グラム(牛乳パック1本)くらいですが、どう思いましたか。

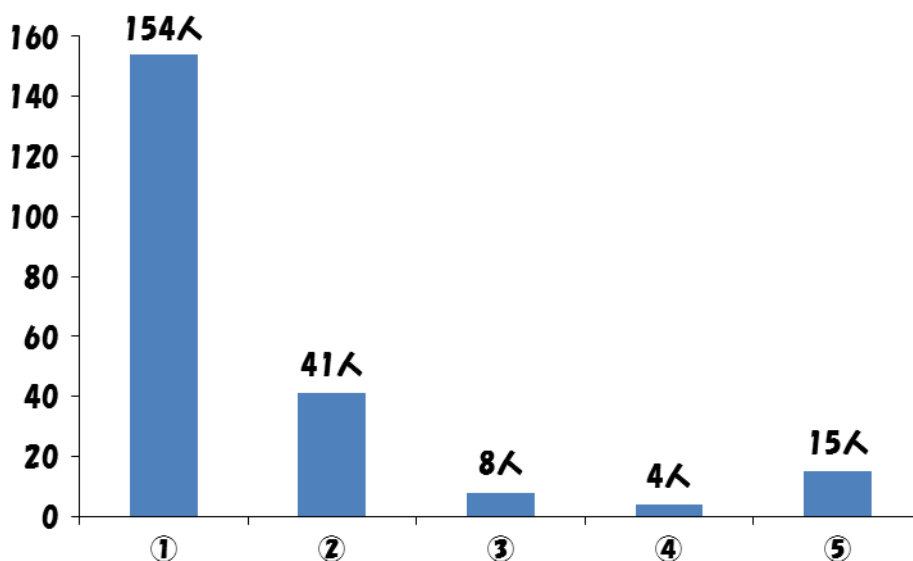
- ①多いと思った ②ふつうくらいだと思った ③少ないと思った



#### Q5 一番多く出のごみ

家から出のごみで一番重さの割合が多いものは次のうちどれだと思いますか。

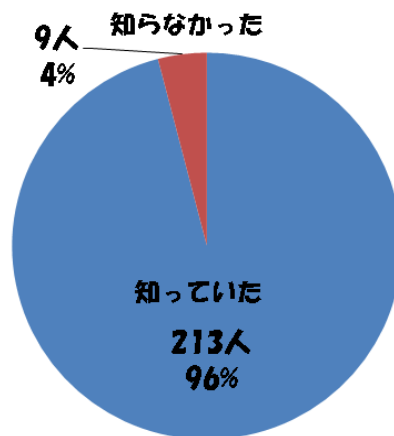
- ①生ごみ(食べ残しや野菜くずなど) ②紙ごみ ③かん・びん  
④ペットボトル ⑤ペットボトル以外のプラスチックごみ



## Q6 日本の言葉

世界の人も知っている、物を大切に作る心や、自然のめぐみや物を作ってくれた人に感謝する気持ちをあらわす日本の言葉として、「もったいない」という言葉がありますが、あなたはこの言葉を知っていましたか。

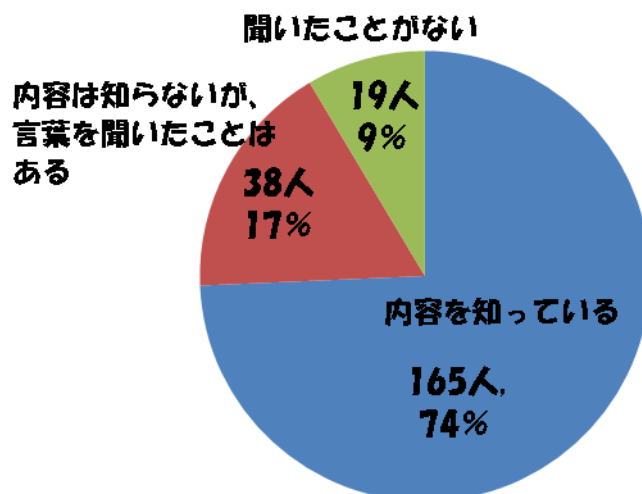
- ①知っていた ②知らなかった



## Q7 3R

3R（リデュース（ごみを減らす）、リユース（使えるものをもう一度使う）、リサイクル（材料をもう一度利用する）の3つの語の頭文字をとった言葉）について内容を知っていますか。

- ①内容を知っている ②内容は知らないが、言葉を聞いたことはある ③聞いたことがない

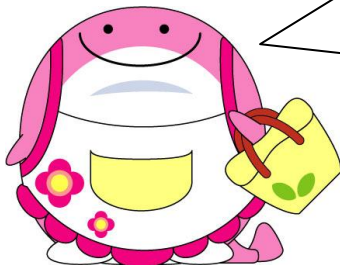
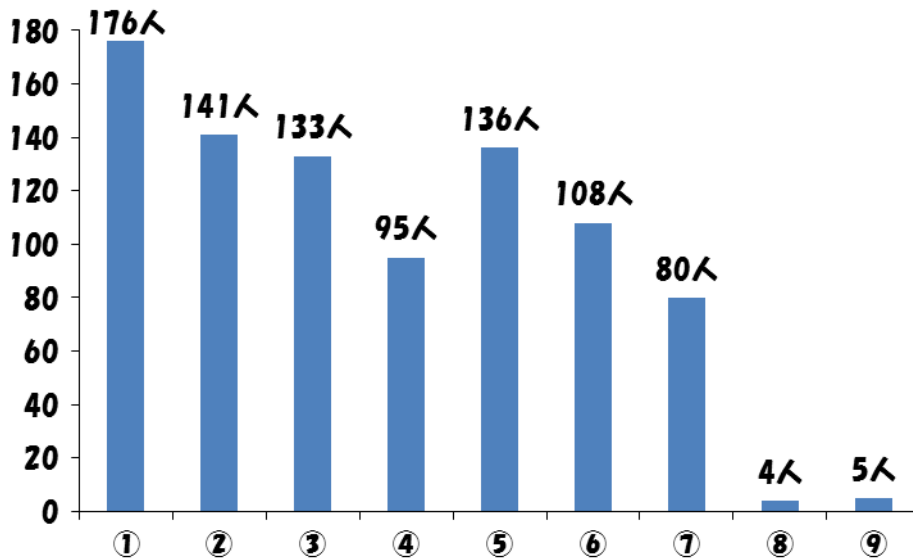


## Q8 身のまわりでしていること

あなたがしている「ごみゼロ」の取組を教えてください。

当てはまるものすべてをえらんでください。

- ①レジ袋をもらわないでマイバッグを使う
- ②食べものを残さない
- ③ごみの分別を手伝う
- ④物を買すぎない
- ⑤えんぴつやノートを最後まで使う
- ⑥着れなくなった服をだれかに使ってもらう
- ⑦こわれた物はしゅうりして使う
- ⑧その他



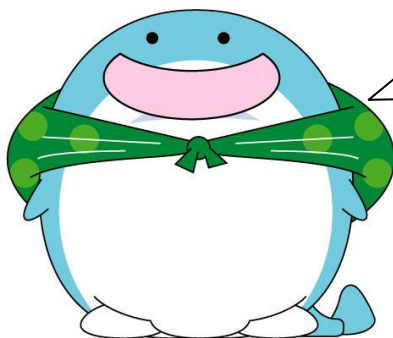
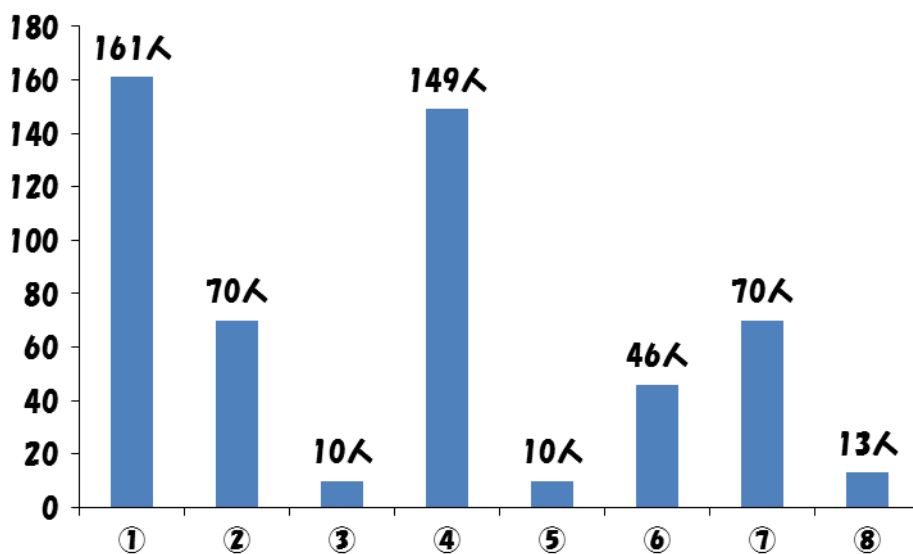
“ゼロママ”

「その他」では、  
ジャンクパーツにして再利用する、トレーをリサイクルに出す、小物は自分で作る、チラシの裏の白い部分を使うがありました。  
みんな身のまわりでできることを積極的に行っていてうれしいわ！  
わたしもマイバッグを使っているのよ。

## Q9 教えてくれる人・物

ごみを出さないことの大切さやごみの分別についてはどこから学んでいますか。  
当てはまるものすべてをえらんでください。

- ①お父さん、お母さん ②おじいちゃん、おばあちゃん  
③兄弟姉妹 ④学校の先生 ⑤友だち ⑥本  
⑦テレビやインターネット ⑧その他



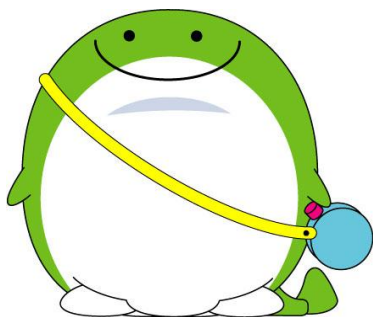
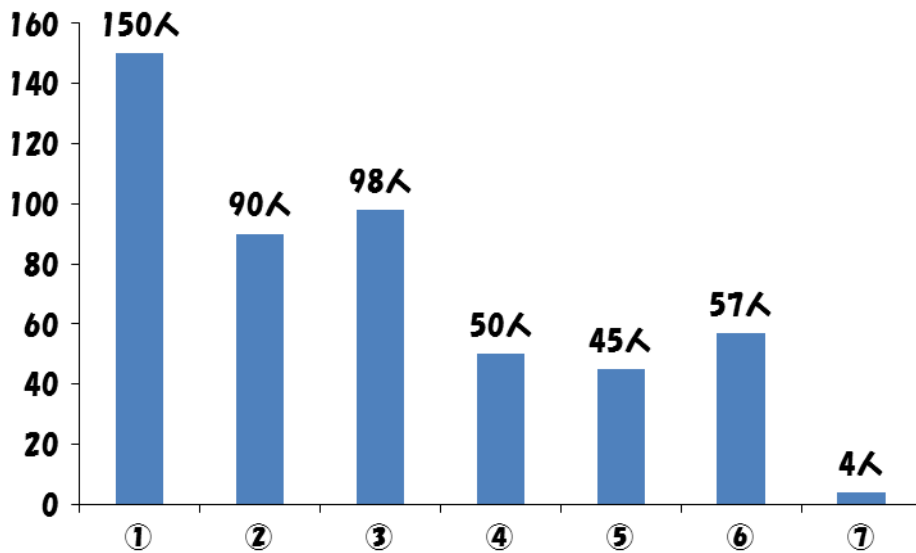
“ゼロパパ”

「その他」では、  
パンフレット、社会見学、環境活動団体、ゼロ吉  
がありました。  
お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、  
学校の先生といったいつも会う人から教えてもらった  
人が多かったね。  
他にも、本やテレビ、インターネットで自分で調べた  
人もたくさんいるね。

## Q10 学び方

ごみのことについて学ぶとしたら、どのような方法がいいですか。  
当てはまるものすべてをえらんでください。

- ①学校の授業で学ぶ
- ②家庭で家族の人との会話で学ぶ
- ③環境イベントで学ぶ
- ④図書館で本などを見て学ぶ
- ⑤環境のことについて展示・紹介している場所に行く
- ⑥テレビやインターネット、DVDなどを見て学ぶ
- ⑦その他



“ゼロ助”

「その他」では、社会見学や自然に耳に入ってくる感じで学びたいという意見がありました。  
ほくはお父さんやお母さん、ゼロ吉お兄ちゃんから教えてもらっているよ。  
妹のゼロ美にも教えてあげるんだ！

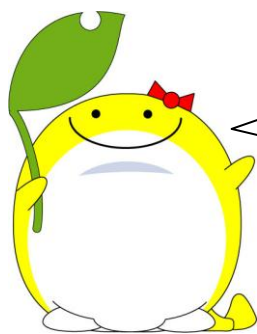
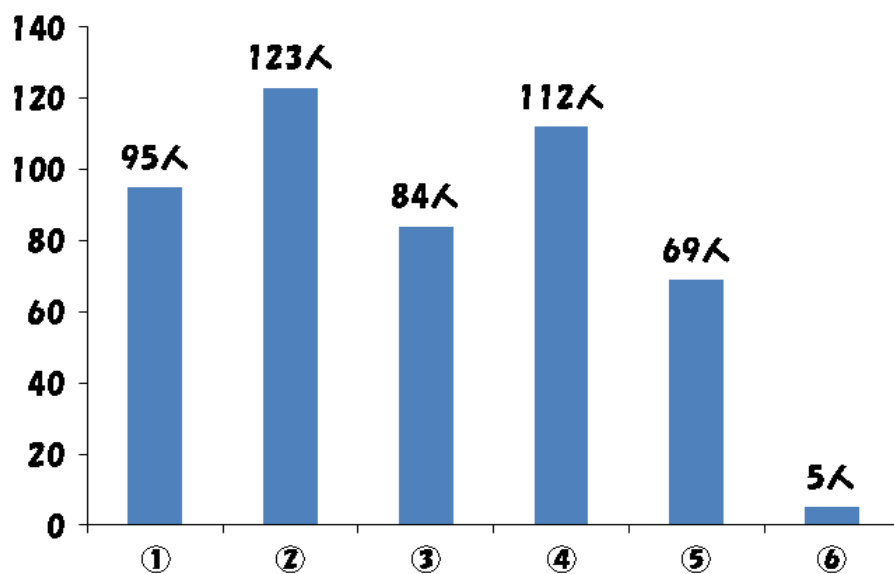


## Q11 知りたいこと

ごみのことについてどんなことを知りたいですか。

当てはまるものすべてをえらんでください。

- ①ごみのゆくえ ②リサイクルのしくみ ③社会でのとりくみ  
④家庭でできるとりくみ ⑤住んでいる地域でのとりくみ ⑥その他



“ゼロ美”

「その他」では、他の国でどうしているか知りたい、  
ごみの分別の仕方を知りたいという意見がありました。  
わたしも他の国では  
ごみをどうしているのか気になるなあ～。

## ま と め

ゼロ吉の名前を「知っている・見たことがある」人は、**88人（約40%）**でしたが、「知らない・見たことがない」人は**134人（約60%）**でした。  
ほくを知らない人がたくさんいるので、少し自己紹介します。



<ゼロ吉のプロフィール>

ぼくの名前はゼロ吉です。三重県の豊かな森から生まれた森の妖精だよ。人間で言うと小学4年生くらいかな。

ぼくが大人になった時も自然豊かな三重県であってほしいから、資源を大切に暮らしているよ。

今は、ちょっと太めな体だけど、大人になった頃には、ダイエットしてスリムになるぞ〜。

**みんなのアンケート結果のまとめをゼロ吉が説明します！**

### ○Q4 1日に出すごみの重さ

三重県の人ひとり1日に出すごみの重さは約**1000グラム**でした。「多いと思った」のは**97人**、「ふつうくらいだと思った」のは**94人**、「少ないと思った」のは**31人**で、あまり少ないとは思っていないことが分かりました。

三重県のごみは少しずつへっていますが、全国では**23番目**に少ない量で真ん中ぐらいです。1日**1000グラム**でも、1年で**360キログラム**になり、かなりの量のごみを捨てていることになります。

ゼロ吉がスリムになるにはもっと減らさないといけないゼロ・・・

### ○Q5 一番多く出るごみ

家から出るごみで一番重さの割合が多いと思うものを聞いたら、「**生ごみ**」が**154人（約70%）**で1番多い回答で、次に「**紙ごみ**」が**41人（約18%）**でした。

みんなの思ったとおり、一番重さの割合が多いのは「**生ごみ**」です。生ごみは水分をたくさん含んでいるので重くなっています。家でお茶を沸かしたあとの残った茶葉をしぼるだけでも、ごみの重さをへらすことができます。

次に回答が多かった「**紙ごみ**」のうち、新聞やチラシ、おかしの箱などは、資源として分けて出せばまた利用できます。ごみ分別表を見て分別にチャレンジしてね！

○Q6 日本の言葉

「もったいない」という言葉を知っている人は213人、知らなかった人は9人で、たくさんの方が知っていました。

「MOTTAINAI（もったいない）」は世界でも通用する言葉です！

○Q7 3R

3Rの内容を知っている人は165人（約74%）で、たくさんの方が知っていました。

3Rはリデュース（ごみを減らす）が一番重要です。次にリユース（使えるものをもう一度使う）が重要で、どちらもできない時にリサイクル（材料をもう一度利用する）することになります。

リデュース（ごみを減らす）をするため、「もったいない」気持ちを忘れないでくださいね！

○Q8 身のまわりでしていること

みんなたくさんの「ごみゼロ」の取組をされていてびっくりしました。

こんなにたくさんの「ごみゼロ」の取組ができる人は「もったいない名人」になれるゼロ！これから、みんなと一緒に「ごみゼロ」の取組をがんばろうね！

○Q9 教えてくれる人・物、 Q10 学び方

ごみのことについて教えてもらう方法は、「お父さん・お母さん（161人）」と「学校の先生（149人）」が多く、次に「おじいちゃん・おばあちゃん（70人）」と「テレビやインターネット（70人）」が多かったです。

たくさんの方が、いつも会う人から教えてもらっていることがわかりました。また、テレビやインターネットを使って自分で調べている人が多いこともわかりました。

ごみのことについて学ぶ方法は、「学校の授業で学ぶ（150人）」が一番多く、「家で家族の人との会話で学ぶ（90人）」、「環境イベントで学ぶ（98人）」、「図書館で本などを見て学ぶ（50人）」、「環境のことについて展示・紹介している場所に行く（45人）」、「テレビやインターネット、DVDなどを見て学ぶ（57人）」と、学ぶなら色々な方法があるといいということがわかりました。

みんなにもっとごみゼロのことを知ってもらえるように、イベントや学校の授業に出かけたり、「もったいない」をテーマにしたテキストを配ったり、DVDで説明したりしています。三重県ごみゼロホームページでも見ることができるので

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/01/ci500005195.htm> よかったら見てほ

しいゼロ！ みんなの意見を参考に、もっと楽しく学んでもらえるようがんばるゼロ！

